

芦田川きれい☆きれいプロジェクト 「芦田川 水辺の学び舎」



助成区分	植樹	環境保全	調査・研究	教育・啓蒙		
実施状況	参加者数	91人	参加者満足度	80%	活動の全体目標に対する達成度	100%

活動目的

芦田川の水環境を改善するためには、水質汚濁の7割を占めるといわれる生活雑排水対策が効果的であり、流域住民の一人ひとりが関心をもち行動に移すことが重要であると考えています。

そこで、川に入って遊ぶ機会が減っている子どもたちに、生き物調査を通じて、川への興味や愛着を高め、水環境への関心をもってもらうことを目的としています。

活動内容

- 体験学習会(水辺の学び舎)の開催(2019年9月29日)
芦田川の水量や水質等の河川環境の異なる2地点において、小中学生など35名(保護者やスタッフなどを含め総勢91名)を対象に体験学習会を開催
①午前:生き物調べ(水生生物調査、魚とり調査、水質調査)
②午後:水辺の生き物マップ作成(調査結果のまとめ)
- ニュースレターの作成・配布
生き物調べの結果や子どもたちが描いた魚の絵などをまとめた啓発用のニュースレター(芦田川さかなマップ)を作成



成果

- 学習会は、午前の部として、芦田川上流の府中大渡橋付近と支川の出口川の2箇所に分かれて水辺の生き物調査を実施し、午後の部として、調査結果のとりまとめを行いました。現地では、専門家の方に魚や水生生物の捕り方を教えていただいた後、子どもたちが実際に川に入って水辺の生き物を捕まえました。また、捕まえた生き物について、名前やこういった環境のところで見られるかななどを教えていただきました。
- アンケート結果では、「毎年参加させてもらっているのでも、魚の分布が分かり興味深いです」「さまざまな生物が生息しているんだと実感した」「普段遊んでいる出口川の生き物の名前を知ることができて良かった」といった意見・感想を得られ経年的に啓発効果が表れていると確認できました。



工夫した点

- ・講師の指導の下、現地で魚とり等を体験し、芦田川の生き物とふれあえる点
- ・捕まえた生き物について、現地で講師から解説することで、高い学習効果が得られる点
- ・現地体験の後、室内で捕まえた魚を観察しながらスケッチすることで、注意深く観察する大切さを学べる点

今後の課題

- ・イベントの継続
- ・スタッフの確保(学生ボランティア等)
- ・大雨や台風など気象状況による日程調整(現時点では振替日を設けていない為)